



機械クラブだより ー第 16 号ー

2019（令和元）年 9 月 1 日

◎ ご挨拶	2
機械クラブ会長 M⑩ 平田 明男	
◎ 機械工学専攻 構成表	2
◎ 機械工学専攻の近況	2
◎ 2018 年度総会・記念講演会 概要（2019 年 3 月 26 日）	3
「生体組織・器官の形づくりのバイオメカニクス」	
京都大学ウイルス・再生医科学研究所 教授 安達 泰治 氏（M③⑧）	
◎ 2019 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 開催報告（2019 年 6 月 8 日）	4
◎ 2019 年度「先輩は語る」講演会 開催報告（2019 年 4 月 24 日）	5
「コンバイン開発における機械系技術者の仕事」	
（株）クボタ 田代 元 氏（M(60)）	
ー 併催：機械クラブ国際活動奨励賞報告会、学生自主活動支援金贈呈 ー	
◎ 第 7 回基幹座談会「学生時代の思い出を語る座談会(M⑮から M⑳・P⑤)」	
「実業界における諸体験に基づく機械工学の応用経験」	
開催報告（2019 年 5 月 18 日）	6
◎ クラス会 報告	
● M⑫東夷クラス会（2019 年 4 月 2 日）	8
● M⑱同期会 at 犬山温泉（2019 年 4 月 3 日, 4 日）	8
◎ 機械クラブゴルフ同好会（KTCMG）報告	
● 第 173 回コンペ報告（2019 年 4 月 12 日）	9
● 第 174 回コンペ報告（2019 年 7 月 12 日）	9
◎ 機械クラブホームページのご案内	11
◎ Eメールアドレス登録のお願い	11
◎ 財務部会からのお願い	11
◎ お問合せについてのお願い	11
2019 年機械クラブ年会費納入者名簿	別冊

KTC 機関誌第 89 号 単位クラブだより 掲載内容

単位クラブだよりには下記項目を掲載しておりますので、そちらもご覧下さい。

- ◎ 「平成 30 年度 機械クラブ総会・講演会」報告

◆ Eメールアドレス登録のお願い

Eメールを登録いただきますと機械クラブ ホームページの更新情報、KTC からの各種案内をいち早くお届けいたします。登録は、kctm@kobe-u.com もしくは、右の QR コードから「メールアドレス登録・変更」ページへ。



◆ 機械クラブ会費納入のお願い

機械クラブだよりの発行を含め、機械クラブの活動は皆さまからの年会費で運営しています。年会費は 2000 円です。複数年分（5 年分等）の納入を歓迎します。

納入方法の詳細は、本紙 11 ページをご覧ください。

◆ ご挨拶

機械クラブ会長 M18 平田 明男



残暑厳しき折、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。年号が令和に変わり新たな気持ちでお過ごしのことと存じます。日頃は機械クラブの活動に格別のご理解とご支援を賜り篤く御礼申し上げます。

さて、機会ある度に申し上げて参りました通り、歴代会長が唱えられてきました機械クラブの“活性化”は今なお重点課題であります。先日、副会長の皆様にお集まりいただき活性化に向けての討議を行いました。それに先立ち谷総務部会長からクラス代表の皆様にクラス会の開催状況を問い合わせいただきましたが、1980年以降に卒業された中堅の皆様のクラスでは卒業以来一度もクラス会を開催されていないクラスが多いことが分かりました。その主な理由としてはお世話していただく方が見つからないということでした。機械クラブでは総務部会を中心に出来る限りのお手伝いをさせていただきますので同期の皆様の連絡先などにお困りでしたら是非ご相談いただきたいと思います。大学でも、今秋第14回を迎えるホームカミングデイ(10月26日開催)への招待状を記念卒業年(5年毎)の皆様にさしあげたりしておられます。また、神戸大学創立120周年(2022年)、工学部創設100周年(2021年)など節目となる年も間近に

迫ってまいりました。これらの機会に旧交を温められてはいかがかと存じます。

機械クラブでは各部会担当の皆様のご尽力で今年度後半に講演会(「六甲祭協賛講演会」11月9日、「若手研究者は今」12月7日、「総会記念講演会」3月25日)、見学会(ヤマトホールディングス関西ゲートウェイ10月12日)、第5回機械技術者生活を語る座談会(10月5日)、第175回KTCMG(10月11日)などの各種行事を予定していますので、是非一度ご参加いただきたいと願っております。これらの行事のご案内、開催報告は、機械クラブホームページや本機械クラブだよりに掲載されていますので是非ご覧戴きたいと思います。

最後になりましたが、機械クラブの活動の主目的であります母校への支援を継続するためには原資となる年会費(2000円)及びご寄付が必須であります。皆様方のご理解と絶大なるご協力をお待ち申し上げます。

◆ 機械工学専攻の近況

機械工学専攻の構成が、2019年4月に3講座13教育・研究分野から4講座(熱流体、材料物性、システム設計、先端機能創成学)11教育・研究分野に変更された。教員数の減少に対応し、教授1、准教授1、助教1の教育・研究体制を維持するためである。現状の課題は、教員数の減少、運営費の減少、教室スペースの減少への対策である。2021年度の工学部100周年記念事業とその募金応募が進められている。また、2016

◆ 機械工学専攻 構成表

(2019年9月1日現在)

講 座	教育・研究分野	教 授	准教授	助教・助手	技術職員，事務職員など
熱流体	先端流体工学 (MH-1)	今井 陽介	片岡 武	石田 駿一	芳田 直征
	混相流工学 (MH-2)	富山 明男	細川 茂雄 林 公祐		
	エネルギー変換工学 (MH-3)	浅野 等	村川 英樹	杉本 勝美	
材料物理	構造安全評価学 (MM-1)	阪上 隆英	塩澤 大輝		古宇田 由夫
	破壊制御学 (MM-2)	中井 善一	田中 拓	横田 久美子	
	構造機能材料学 (MM-3)	田中 克志	長谷部 忠司 藤居 義和	寺本 武司	
システム 設計	機能ロボット学 (MA-1)	横小路 泰義	田崎 勇一	永野 光	片山 雷太
	センシングデバイス学 (MA-2)	神野 伊策	肥田 博隆		
	生産工学 (MA-3)	白瀬 敬一	妻屋 彰 佐藤 隆太	西田 勇	
先端機能 創成学	ナノ機械システム工学 (MI-1)	磯野 吉正	菅野 公二	上杉 晃生	中辻 竜也
	材料設計工学 (MI-2)	向井 敏司	田川 雅人	池尾 直子	
工作技術センター		技術職員：大槻 正人，吉田 秀樹，義澤 康男，中辻 秀憲，大和 勇一			

(機械工学専攻 HP : <http://www.mech.kobe-u.ac.jp/n/>)

年度に開始したクォーター制、ギャップタームも4年目を迎え、その見直しも進められている。

◆ 2018 年度総会・記念講演会 概要

開催日時：2019 年 3 月 26 日 (火) 17:20~18:20

開催場所：兵庫県私学会館

講師：京都大学ウイルス・再生医科学研究所

安達 泰治 教授 (M38)

演題：生体組織・器官の形づくり
のバイオメカニクス

出席者：約 60 名

講演概要：

バイオ研究に関して力学の観点で研究されている内容をご講義いただいた。

京都大学ウイルス・再生医科学研究所は、京都大学吉田キャンパスの南西地区にあり、iPS 細胞研究所などの生命医科学関連研究所、薬学研究科、医学研究科や大学病院などの集まる一角にある。1998 年、再生医科学研究所とウイルス研究所が統合され設立された。医工学、医学、生命科学分野の研究者が集まっている。安達教授は 1990 年、当時 M1 講座卒であり、紹介いただいた研究の一部は、富田佳宏先生と共同で研究した内容も含まれている。講演内容の要点は以下の通りである。

力学アプローチの骨の考察

- ✓ 骨の表面に、骨を削る、骨を造る細胞があり、メンテナンスをしている。硬い骨の中に細いトンネルがあり、同様の細胞がいる。さらに、メカノセンサー細胞（力を感じるセンサー）がネットワークを作っている、と考えている。
- ✓ 宇宙のような無重力環境では、骨は細くなる。
- ✓ 大腿骨の内部には海綿構造があり、断面では直交曲線の主応力線に見えることが 150 年前に知られており、この構造パターンの分析に取り組んだ。
- ✓ メカノセンサー細胞により微細な骨の表面に力学情報が集められたとして、周りの平均値との差分によってそれによる骨の増減量の整理を試みた。それを時間、空間の 2 つのパラメータで表現し、数値シミュレーションによって海綿骨構造を計算できた。
- ✓ 100~200 nm のセンサーがネットワークを構成していると考えられる。
- ✓ 細胞のコミュニケーション等も観察した。現在、幹細胞からの骨細胞の誘導を実験室で観察している。

臓器の形ができていくプロセス

- ✓ 折り紙から鶴を作るプロセスのようであるが、似ているところと似ていないところがある。

- ✓ 細胞のシートの変形は、収縮と圧縮の 2 つの力で説明できる。
- ✓ 2010 年頃、ES 細胞を用いた組織の形態形成研究が始められた。チューブ下で細胞のおにぎり状の塊を創り、さらにそれをゲルに埋め込むとビーチボール状になる。しばらくすると、不均一な変形が生じて小胞・突起ができ、さらにおいておくと、突起がへこむ現象が観察された。
- ✓ この現象を力学的に説明してみた。① 緩和、② 角部の局所収縮、③ 細胞増殖が順番に起これば説明できると考え、数値シミュレーションによって実証された。
- ✓ ①~③のプロセスの順番、時間を巧みに組み合わせると、折り鶴のように、形態の形成ができるが、その順番や時間が違うと、答えも千差万別となる。

以上、素人にもわかりやすく講演いただき、講演後には活発な質疑応答もなされた。主な、質問と回答を以下に示す。

Q1：エントロピー増大に従っているのか？

A1：バネ自身は単なるエントロピックなバネのようにふるまうが、変形で別の分子をくっつける機能を持っている。かかる力は、隣の細胞からの外力を想定して説明している。

Q2：プロセスの順番、時間の情報は遺伝子情報なのか？

A2：試行錯誤で消えるパスがあり、進化の結果として残ったもの、という考え方となる。

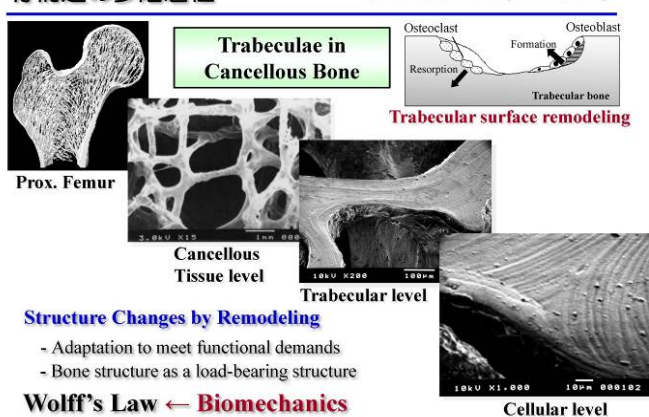
Q3：無重力環境では成立しないのか？

A3：長い時間で、適用するプロセスが成立するのを待つことになる、という考え方。

最後に、人がいなくても仕組みがあるのがサイエンス、人がいて触ってみて操作するのがエンジニアリングである、との考えが述べられた。

なお、講演スライドの一部は機械クラブホームページに掲載されております。

骨構造の多階層性



Adachi T, et al, J Biomech Eng 1998, Tsubota K, et al, J Biomech 2009

◆ 2019 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 開催報告

M18 谷民雄

開催日時：2019 年 6 月 8 日(土) 10:00～11:30

開催場所：工学研究科 C4-402 会議室

出席者：17 名

議事概要：

1. 会長挨拶

本日は何かとお忙しい中、ご出席頂きまことにありがとうございます。年号が「令和」になって、最初の理事・代表会であります。特別会員の山本明先生（昨年 11 月）、吉田虔太郎先生（今年 5 月）がご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

今年度予定しました行事の内、先輩は語る講演会でのクボタの田代元さんの貴重な話や、第 7 回基幹座談会での会社生活に話題を上げたより活発な座談会など、各部会の活動は皆様のご協力により計画通り滞りなく進行しており、感謝申し上げます。

さて歴代の会長が唱えられてきましたように、機械クラブの活性化が今もって最大の課題であります。就業年齢の引き上げが急速に進む中、現役の皆さまの価値観に合った、また若手の皆さまにも参画していただけるような企画の必要性を痛感しています。別途、副会長の皆さまと議論したいと考えています。更に、卒業後一度もクラス会を開催されていない年次もありますので、底辺からの底上げを図るため機械クラブとしてクラス会開催に向けお手伝いが出来ればと考えております。

最後になりましたが、会の運営の原資として機械クラブ年会費、ご寄付は必須であります。今後の皆様の変わらぬご協力をお願い致しますとともに、周辺の方へのご協力の呼びかけをお願い致します。

2. 機械工学専攻の近況

神野専攻長より学科構成、教職員の異動、今春卒業・修了生の進路が説明された。また、クォーター制の進捗状況や、ギャップタームの過ごし方での課題と今年度の取組について説明された。

3. 議事

3-1 2019 年度各部会推進状況報告

（資料にもとづき各部長／代行者より報告）

- (1) 総務・HP 学生の自主活動に対する支援金を、4 月 24 日、2019 年度「先輩は語る」講演会後に平田会長より贈呈した。両チームの健闘を祈る。

- (2) 財務 会費納入数は 6 月 8 日現在 402 名で納入が低調。年会費に関するお願いメール発信の結果、第 1 回目 17 名、第 2 回目 20 名の納入があった。第 3 回目を実施予定である。

- (3) 「機械クラブだより」第 15 号を機械クラブ HP に掲載した。

- (4) 「先輩は語る」4 月 24 日(水)実施。講師はクボタ 田代元氏(M60) (演題：コンバイン開発における機械系技術者の仕事)、同時開催：国際活動報告：金子和暉君、温井悠平君、干場太一君、林秀明君、森下喜一君、中瀬博之君、卒業生は代行報告のみ。

- (5) 見学会 今年度見学会は、10 月 12 日(土)ヤマトホールディングスの関西ゲートウェイ（大阪府茨木市）にて宅急便等の物流仕組みを 16:10 より見学予定。定員 30 名。若手の勧誘依頼が平田会長からあった。

- (6) 会員親睦 第 173 回：4 月 12 日(金)東条の森 CC・宇城コース、第 174 回：7 月 12 日(金)東条の森 CC・大蔵コース、第 175 回：10 月 11 日(金)東条コースでの開催を予定している。代表幹事を光田芳弘氏より國光秀昭氏に交代する提案があり、全会一致で承認された。

- (7) 座談会 第 7 回基幹座談会「学生時代と社会人生活を語る座談会 (M15 回生から M24・P5 回生) を 5 月 18 日(土)13 時より工学部本館 2 階大会議室で実施した。当該回生出席者 6 名、他 18 名、座談会後、懇親会を開催した。

- (8) クラブ精密 本年 10 月 26 日(土)のホームカミングデイにあわせて、第 32 回総会の開催を準備中。

- (9) 東京支部 第 1 回幹事会を 6 月に、東京支部総会・講演会を 7 月 25 日(木)に林公祐准教授(M50)を講師に招いて実施予定。第 2 回幹事会は 8 月に、見学会は 9 月の予定である。

- (10) 会員数：卒業生総数 8007 名に対し会員数 6285 名、物故会員 1722 名。昨年度の総会以降 4 名の方が逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

3-2 審議事項

会員親睦部会長を光田芳弘氏から國光秀昭氏に交代する提案があり、全会一致で承認された。また、國光氏の監事退任が承認された。後任が見つかるまで監事は柄谷祐司氏 1 名とする。

4. 学生の課外活動の報告

4-1 学生フォーミュラ

4 月 27 日シェイクダウン走行会（初走行）、現在、車両データの取得、静的審査に向けた書類作成中。本大会は 8 月 27 日～31 日エコパスタジアムにて開催。



(後列左から) M⑭酒井, M(53)伊藤, P⑥井宮, M⑫西下, M⑫光田, M③⑩白瀬, M③⑩尾野, M②①玉屋
(前列左から) M⑧⑩國光, M⑧③峰野, M⑨⑨永島, M⑧⑩平田, M⑨⑨東, M⑩⑩宇田, M⑧⑩副島

2019 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 集合写真 (撮影: M⑧⑩谷)

4-2 ロボット研究会

活動メンバーは 3 名から 7 名に増員、6 月 30 日の岡山予選にむけて鋭意活動中。予選はイオンモール岡山。神大チームは 16 時より出走予定。本戦は 8 月 10 日、11 日神戸サンボーホールにて開催。在学 OB の峰氏も活動に協力的である。

5. KTC の近況

定時社員総会が 2019 年 5 月 17 日(金)に神戸・楠公会館で開催され、提案 3 議案は全て承認された。代議員出席者数 19 名+委任状 14 名であり、社員総数 40 名の 2/3 以上であり成立。

2018 年度事業報告と決算報告

2019 年度事業計画及び収支予算案: 事業活動収入 35 百万円、事業活動支出 31 百万円

理事改選・監事辞任、理事の辞任・交替:
機械クラブ(理事退任)西下俊明氏、(理事就任)白岡克之氏、(重任理事)富田佳宏氏、平田明男氏

◆ 2019 年度「先輩は語る」講演会

ー 併催: 機械クラブ国際活動奨励賞報告会,
学生自主活動支援金贈呈 ー

講演会部会長 白瀬 敬一 M③⑩
西田 勇 M(56)

開催日時: 2019 年 4 月 24 日(水) 8:50~10:20

開催場所: 神戸大学瀧川記念学術交流会館

司 会: 白瀬 敬一 教授

◎ 「先輩は語る」講演会

講師: (株)クボタ

田代 元 氏 (M(60))

演題: コンバイン開発における機械系技術者の仕事

講演内容:

講演の初めに田代氏のご略歴



が紹介された。田代氏は現在、株式会社クボタ収穫機技術部にて、製品の研究開発業務に携わっている。まず、これまでのキャリア選択の経緯について話された。大学での学部を決めるときには、ものづくりになんとか興味があり、工学部機械工学科に決めたこと、また、就職時には、大きい駆動機械で社会に役立つものづくりがしたいとの思いから、クボタに決めたことである。次の会社紹介では、クボタの事業内容、コンバインの種類や構造、稲作の流れなどが説明された。次に、ICT を活用したスマート農業が紹介された。現在、農業就労者が高齢化しており、担い手農家が増加しているとのことである。さらに、農機の自動化・無人化の取り組みについて紹介された。現状では、有人監視での自動化・無人化が実現されているが、完全自動化に向けて、安全性の壁をどう乗り越えるかが課題とのことである。現在のご自身の開発業務は農機の試作・試験、評価であり、大学での勉強が業務と直結している、特に、設計図面が読めないと仕事にならないことが多く、機械製図が大いに役に立っているとのことであった。

最後に、後輩の 1 回生に向けてのメッセージをいただいた。個々の科目をしっかりと習得しておくことが理想であるが、知識の引き出しを多くしておき、キーワードを知っているだけで役に立つことが強調された。また、技術者として重要なことは専門性とコミュニケーション力であることを強調された。

ご講演の後には、実家が農家の学生から農業機械の振動に関する質問があった。現在、まさに業務で振動を抑制することに取り組んでおり、振動源の特定やその振動の減衰方法を検討しており、期待してほしいとのことであった。

本講演が学生に大変刺激を与えたものだったに違いない。

◎ 機械クラブ国際活動奨励賞報告会

2018 年度受賞者 (所属学年は受賞当時)

金子 和暉 (大学院博士課程後期課程 1 年)
 温井 悠平 (大学院博士課程前期課程 2 年)
 干場 太一 (大学院博士課程前期課程 2 年)
 林 秀明 (大学院博士課程前期課程 2 年)
 森下 喜一 (大学院博士課程前期課程 2 年)
 中瀬 博之 (大学院博士課程前期課程 1 年)

金子君から参加した学会の様子や、発表した研究内容が紹介された。温井君、干場君、林君、森下君、中瀬君については、当日参加できなかったため、預かった資料の紹介が白瀬教授からなされた。



金子君

いずれの報告でも、国際会議の雰囲気伝えるための工夫があり、また、学部・大学院と努力することにより国際会議での発表のチャンスをつかめる、という点が強調されていた。学生生活を楽しみながら、弛まぬ努力を、という先輩学生からのメッセージであった。

◎ 学生自主活動支援金贈呈

機械クラブ平田会長から学生フォーミュラチーム (FORTEK) およびレスキューロボットチーム (六甲おろし) に対して活動支援金が贈呈された。両代表からは皆様の期待に応えられるよう、より一層の努力を重ねるとの抱負が語られた。

◆ 第 7 回基幹座談会「学生時代の思い出を語る座談会 (M⑮から M⑳・P⑤)」

「実業界における諸体験に基づく機械工学の応用経験」報告

実行委員長 M⑳ 玉屋 登

開催日時：2019 年 5 月 18 日 (土) 13:00~17:00

開催場所：工学研究科 2 階 多目的会議室

参加者数：20 名

2014 年から回生・年齢を跨いだ機械クラブ全体の会員間の親睦と交流を増進するための集いとして発足した基幹座談会「学生時代の思い出を語る座談会」も回を重ね、今回で 7 回目となり、出席者は、今回の 6 名を含め、延べ 98 名になりました。

今回は、「学生時代の思い出」と共に、出席者から「実業界における諸体験に基づく機械工学の応用経験」についてお話頂き、その後参加者とともに意見交換しました。

出席者の応用経験

➤ 堀 英教 氏

(M⑮、元三菱重工業)

ラプラス変換は蒸気タービンのガバナ制御機構構築に役立った。タービンの設計に応用数学、材料力学、熱力学などの機械工学を応用した。



➤ 常次 正和 氏

(M⑰、元日立造船)

排気を冷却した後、酸素を混入して再びエンジンに供給するリサイクルエンジンシステムは深海資源開発に役立つことが期待され、設計に自動制御理論などの機械工学を応用した。



➤ 漆崎 栄二郎 氏

(M⑱、元ダイフク)

自動倉庫などの物流システムの開発では、種々の開発要素があったが、それに優先順位をつけて、解決に至る事項をフローチャートで整理し、1 つ 1 つを理詰めで解決した。



➤ 中村 敬一 氏

(M㉑、元トヨタ自動車)

自動車プレス現場の重要課題の一つは、成形性予測である。断面 R、形状深さなど製品寸法の厳しい部品の成型性予測に FEM 解析を試みた。しかし、新規形状予測が難しくトライ&エラーとなった。



➤ 山田 保之 氏

(M㉒、元㉒神戸製鋼所)

電子ビーム方式コーティング装置の設計・試作は、修士論文の研究「走査型電子顕微鏡の真空技術」が役立った。また、ドリル断面形状最適化ではねじり剛性の検討で有限要素法による応力分布解析において材料力学を応用した。



➤ 中瀬古 広三郎 氏

(M㉓、住友ゴム工業)

タイヤやゴムの数値シミュレーション、ゴム素材やゴム構造物の解析では機械工学のセンスが役立った。工学的な視点で製品自体の設計と性能を理解することが大切である。



異なる業界に共通する経験として、5つのテーマ（製品企画、設計開発、生産・生産技術、数値解析、労働安全）について意見交換を行った。最後に、基幹座談会について、以下の意見を頂いた。

漆崎氏：本座談会は現役を退いた卒業生が対象で、その内容はホームページで学生に伝わることであるが、在校生に直接伝えることもできるのでは。

山田氏：サマーセミナーなどを開いて学生と社会人が会話することも考えられるのでは。

中瀬古氏：一方的に話す内容を聴くだけでは学生にとって面白くないだろう。短時間でもよいから学生と社会人のパネルディスカッションをやればよい。

中村氏：学生に如何に展開するかが大切。リクルーターをやったことあるがなかなか来てくれなかった。工場見学で学生が卒業生と会えば効果的と思う。

神戸大学卒業後40年以上の企業における応用経験は各人千差万別ですが、活発な意見交換の結果、共通する意見が語られました。これらは、

機械クラブの知的財産であり、現在活躍されている社会人の会員並びに学生にとっても傾聴に値するものでした。

なお、この座談会では、卒業後の社会人生活で役立った学生時代の経験について、出席者を対象に事前にアンケート調査を行い、その結果に基づき意見交換を進行しました。アンケートの詳細は、機械クラブホームページをご覧ください。

座談会終了後、会場を工学会館に移して親睦会を開催し、出席者の皆様と、機械クラブ役員、座談会部会員一同、親しく和やかに食事とお酒で楽しみました。特に、中村 敬一 氏(M21)の「津軽三味線」の演奏と酒井 善正 氏(M14)の「イヨマンテの歌」で盛り上がりました。

遠くからご出席を頂いた今回の座談会も無事終わることが出来ました。これも一重に、ご出席くださった皆様方並びに関係各位の熱意とご尽力の賜物と感謝いたしております。ありがとうございました。

第7回基幹座談会 出席者

(順不同、敬称略)

回生	氏 名	卒業研究の講座の先生	回生	氏 名	卒業研究の講座の先生
「学生時代と社会人生活」を語る出席者			第7回座談会実行委員会委員		
M15	堀 英教	川井良次, 岩壺卓三	M8	坂口忠司	赤川浩爾, 武藤万秋
M17	常次正和	赤川浩爾, 坂口忠司, 沢井洋征	M9	永島忠男	赤川浩爾, 武藤万秋
M18	漆崎栄二郎	岩田一明, 森脇俊道	M14	酒井善正	川井良次, 岩壺卓三
M21	中村敬一	岩田一明, 森脇俊道	M15	堀 英教	川井良次, 岩壺卓三
M23	山田保之	岩田一明, 森脇俊道, 上田完次	M17	常次正和	赤川浩爾, 坂口忠司, 沢井洋征
M24	中瀬古広三郎	赤川浩爾, 坂口忠司	M17	八十川信介	鳴瀧良之助, 岩田一明, 森脇俊道
			M19	山岡高士	進藤明夫, 瀬口靖幸, 佐藤正明
			M20	中野直和	木村雄吉
			M21	玉屋 登	岩壺卓三, 瀬口靖幸
機械クラブ役員代表等			M23	多田幸生	進藤明夫, 瀬口靖幸
M18	平田明男	井上 清	P6	井宮敬悟	坂口忠司
M18	谷 民雄	赤川浩爾, 坂口忠司, 沢井洋征	M36	浅野 等	赤川浩爾, 藤井照重



(後列左から) 浅野(M36), 山岡(M19), 中野(M20), 酒井(M14), 永島(M9), 坂口(M8), 谷(M18), 玉屋(M21), 平田(M18), 井宮(P6), 八十川(M17)

(前列左から) 堀(M15), 常次(M17), 漆崎(M18), 中村(M21), 山田(M23), 中瀬古(M24), 多田(M23)

第7回基幹座談会 集合写真

◆ クラス会報告

➤ M12東夷クラス会報告

箱根の関の向こうに終のすみ処を構えたばかりに、六甲台への足が遠退いてしまった面々が、年に一度の顔合わせを励行して居ます。本年は、4月2日(火)に小金井桜を觀て、武蔵野うどん等を食し、乍ら、姫路、御影、六甲台での想い出囃子に花を咲かせました。



(後列左より) 大谷忠彦, 平野嘉男, 中筋千秋
(前列左より) 陰山照男, 石原昌治, 白鳥博司, 桜井祐二
M12の東夷7人衆

➤ M18同期会 at 犬山温泉

M18 藤野 誠治

一昨年の古希の会で、関東の同期の参加も配慮し、桜の季節に中部地区でやろうと決めて、2度目になる犬山温泉でのM18同期会を開催。3名が急用で参加できなかったが、19名が集結しました。

4月3日午後3時50分、会場である“犬山温泉 旬樹庵 八勝閣みづのを”に集合。まずは幾つかの輪で近況を語り合い、仕事の話、孫の話、趣味の話、病気の話などなどを話さ中で、集まったことへのお互いの健康を祝しました。

温泉に入った後、午後6時、真ん中の机には、差し入れしてもらった多種多様なお酒が並び、幹事である漆崎君の挨拶、藤野の乾杯で宴会が始まりました。お酒と食事で少しお腹を満たしたところで、1人2分、孫と病気の話は少しにして、という近況報告タイムとなりました。皆さん、言いたいことが一杯、やはり孫の話、病気の話もちろほら。その中でも、重近君の褒章受章に始まり、特筆すべき幾つかのめでたい話がありました。

- ・藍綬褒章を受章した、岡山在住の重近(旧姓衣畑)君
- ・IPCC(Intergovernmental Panel on Climate Change 2007-8)ノーベル平和賞の貢献賞(団体賞)を受けた、大阪在住の大西君
- ・日本山岳会の晩さん会で、皇太子殿下にチベット・ヒマラヤ山行の話をしてきたという、白山在住の井上君

宴会時間は2時間、あまりにも短い一時でした。カラオケセットは、小林旭「北へ」を歌ってくれた菅野さん、そして平野君に歌ってもらおうと入れた村田英雄「王将」は藤野が半分まで、将棋の駒でなく、カラオケセットが泣いて



(後列左から) 大西, 川上, 北薊, 井上, 竹田, 流郷, 平野, 漆崎
(2列目左から) 山崎, 小林, 重近, 國光, 田中
(前列左から) 副島, 谷, 以西, 菅野, 平田, 藤野

M18クラス会 集合写真

いました。外は、木曽川越しに見える、ライトアップされた国宝犬山城が輝いていました。

集合写真を撮って、宴会はお開き。一つの部屋に集まって宴会の続きです。来年は卒業50周年やなあ、同期会やらんとあかんなあ、四国の徳島でやるか、幹事は以西君と川上君やなあ、でも記念の年は神戸でやらんとあかんなあ、とか。学園紛争の結果、合格証書によると、卒業は4月25日やったんやなあ、次同期会は4月25日がええなあ、とか。

翌日のゴルフを期して、早く寝るぞという人も居て、1部屋に集まっての飲み会は、午後10時でお開き。その後、各部屋で、昔の武勇伝などを披露する時間となりました。

明けて4日。朝風呂に入り、凄いいボリュームの朝食を食しました。でも、完食数名。流郷君はどんぶりのご飯をお替わりしたとか、元気ですなあ。その後、9名はゴルフ組とお別れです。ゴルフは、同期で何回かやっている、名門さく

らカントリークラブ。ちょっと早いかなと思った桜も見事でした。3組10名でラウンド、往年の力は影を潜める人が多い中で、一人重近君だけが100切り。ニアピンは、全て誰かが取ったので、小技は健在ということなんでしょうなあ。優勝はダブルペリアでネット73、國光君がさらって行きました。非ゴルフ組は三々五々、犬山の見事な桜並木を満喫し帰路へ。

名残惜しいなか、来年の同期会参加を約束してしばしの別れとなりました。今回は50周年の記念、令和2年4月23日24日、神戸で開催の予定です。同期の皆さん、予定を必ず開けておいてくださいますように。

良き同期に乾杯！です。

幹事：漆崎、藤野、小林、副島



(左から) M⑩大和, M⑩市橋, M⑫光田, M⑫西下, M⑬國光, M⑫橋本, M⑫松場

第173回ゴルフコンペ集合写真

◆ 機械クラブゴルフ同好会 (KTCMG)報告

I. 第173回コンペ報告

2019年4月12日に東条の森カントリー倶楽部・宇城コースにて開催しました。

今回は、参加者は7名でした。(光田氏(M⑫)は1ホールでリタイア、市橋氏(M⑩)は前半のみ参加)

西下俊明氏(M⑫)が優勝され、準優勝は大和敏郎氏(M⑩)、3位は橋本晃一氏(M⑫)でした。

優勝者&ブービーのコメント

・優勝者：西下俊明氏

長い歴史を誇るこのコンペでは、過去準優勝経験は数回あるが、優勝できたのは光栄の至りです。これからも『後期高齢者此处にあり』と頑張ります。

・ブービー：松場恒夫氏

あまり経験をしたことのない賞をいただきました。ハンデがきつくなったせいでもありますので、皆さんのハンデが下がってくるのを待ちたいと思います。

結果概要

▶ 上位入賞者の成績

順位	氏名	回生	GRS	HDGP	NET	新 HDGP
優勝	西下 俊明	M⑫	94	28	66	17
2位	大和 敏郎	M⑩	91	15	76	12
3位	橋本 晃一	M⑫	96	14	82	14

II. 第174回コンペ報告

今回より、新しく KTCM 親睦部会長に就任された國光秀昭氏がゴルフ部会の運営をリードされることになりました。

本部会の活動状況は少し寂しい状況ではありますが、これをきっかけに従来会員とともに部会が活発になるよう協力して行きたいとの決意表明を出していただきました。暖かく見守りたいと思います。

2019年7月12日に東条の森カントリー倶楽部・大蔵コースにて開催しました。参加者は8名でした。

高橋久雄氏が優勝され、準優勝は市橋誠氏、3位は西下俊明氏でした。

参加者のコメント

・優勝者：高橋久雄氏(M⑬)

初めて HC をもらっていきなり優勝で大変申し訳ない。パートナーのおかげです。また立派なトロフィーを抱くことができうれしく思います。次回も頑張ります。

・新規参加：重近 實氏(M⑬)

機械卒なのにほとんどの人生は税理士として生きてきました。まだ仕事を引きずってますが今後も参加したい。

・新規参加：谷 民雄氏(M⑬)

KTC 機械クラブの総務部会長を受けたことから、ゴルフ同好会にも参加する羽目になりました。110を早く切りたい。

結果概要

▶ 上位入賞者の成績

順位	氏名	回生	GRS	HDCP	NET	新 HDCP
優勝	高橋 久雄	M ¹⁸	87	17	70	13
2 位	市橋 誠	M ¹⁶	110	40	70	34
3 位	西下 俊明	M ¹²	90	17	73	15

今後の運営について

- ・教授、名誉教授の参加が、幅広い年代にわたっての会員勧誘につながると思うので、まずはゴルフをたしなまれる先生にコンタクトする。
- ・学部、修士学生の参加を含めて現役教授にも声掛けする。
- ・将来をにらむと 60±5 歳の参加が特に重要なので、潜在人材の情報を共有する。

今後の予定

日 程：2019 年 10 月 11 日(金)

場 所：東条の森 CC 東条コース



(後列左から) M¹⁸重近, M¹⁸谷, M¹⁸國光, M¹⁶大和, M¹²松場
(前列左から) M¹²西下, M¹⁸高橋, M¹⁶市橋

第 174 回ゴルフコンペ集合写真

2019 年度 行事予定

開催日			行 事	場 所
2019 年	10 月	5 日(土)	第 5 回機械技術者生活を語る座談会	神戸大学工学研究科
		11 日(金)	第 175 回 KTCMG	東条の森 CC 東条コース
		12 日(土)	見学会（ヤマトグループ 関西ゲートウェイ）	大阪府茨木市
		17 日(木)	KTC 東京支部総会 KOBE 工学サミット in Tokyo	ファイナンスアカデミー会議室 （東京都千代田区）
		26 日(土)	クラブ精密 第 32 回総会 神戸大学第 14 回ホームカミングデイ	神戸大学工学研究科
		31 日(木)	KTC 学内講演会 （「はやぶさ 2 による小惑星リュウグウの探査と宇宙 衝突実験」理学研究科 荒川政彦教授）	神戸大学工学研究科
	11 月	4 日(月)	東京支部見学会（日産自動車 横浜工場）	横浜市神奈川区
		9 日(土)	六甲祭協賛講演会（今井 陽介 教授）	神戸大学六甲台第 1 キャンパス
	12 月	7 日(土)	第 2 回理事・代表会 「若手研究者は今」講演会（西田 勇 助教）	神戸大学工学研究科
	2020 年	3 月	25 日(水)	機械クラブ総会・講演会 新入会員歓迎会

◆ 機械クラブホームページのご案内

URL : <http://home.kobe-u.com/ktcm/>

機械クラブでは活動のようすを会員の皆さまにお伝えするため、ホームページに、各種行事の案内 および開催報告、クラス会報告に加えて、卒業生の方々による寄稿文を掲載しております。また、「機械クラブだより」のバックナンバーもご覧いただけます。神戸大学学歌、神戸高等工業学校校歌、寮歌など、紙面ではお伝えできない情報も充実しております。掲載情報を随時更新しておりますので、ホームページもご覧ください。

◆ Eメールアドレス登録のお願い

機械クラブの活動状況はホームページでお知らせしています。Eメールアドレスを登録いただきますとホームページの更新情報をいち早くご覧いただくことが出来ます。また、KTC から各種案内もお届けします。

この度、上記ホームページに「メールアドレス登録・変更」ボタンを設置し、手続きを簡素化しましたので是非ご利用ください。右のQRコードからも「メールアドレス登録・変更」ページにアクセスできます。なお、従来通り機械クラブ (ktcm@kobe-u.com) までご連絡をいただいても結構です。



◆ 財務部会からのお願い

財務部会長 M¹⁸ 副島 宗矩

今年は会費納入の お願い活動を行いますので、ご協力よろしくお願いします。

年会費は 2000 円です。

複数年分（5 年分等）の納入を歓迎します。

年会費、ご寄付の納入方法①

別冊の年会費納入者名簿からゆうちょ銀行「払込取扱票」を切取り、金額の内訳、お名前、おところ等をご記入の上、ゆうちょ銀行からお振込をお願いします。ゆうちょダイレクトからも取扱票へ記載の口座番号をご利用下さい。

年会費、ご寄付の納入方法②

三井住友銀行 普通預金 六甲支店 (421)
口座番号 1202658

口座名 神戸大学機械クラブ（カナ表記：
コウヘ` タ` イカ` クキカイクラブ`）

へお振込をお願いします。

三井住友銀行をご利用される場合はお名前の直後に、卒業年または回を入れてください。

クラス会でまとめて納入頂くことも歓迎します。納入者名簿、納入方法等に不明点がありましたら、下記へお問い合わせください。

お問合せについてのお願い

◎ 原則 E-mail でお願いします。

機械クラブ担当者が対応します。

◎ 電話、郵便の場合、機械クラブ担当者に取り次ぎし、後日担当者から回答することになります。

【機械クラブだより 第 16 号】

発行所：神戸大学機械クラブ

発行人：会長 平田 明男

発行日：2019 年 9 月 1 日

所在地：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学大学院工学研究科

機械工学専攻事務室内

Tel : 078-803-6152

E-mail : ktcm@kobe-u.com

URL : <http://home.kobe-u.com/ktcm/>